

令和4年度第2回大船渡市水道事業運営審議会 会議録

- 1 日 時 令和5年1月27日（金）13:30～15:00
- 2 場 所 大船渡市役所 第1会議室
- 3 出席者
（委 員） 細川廣行会長、北條一子委員、佐藤優子委員、佐藤清治委員、
金野弘美委員、上部博子委員、新沼律子委員
（事務局） 佐藤所長、今野次長、海山主幹、佐々木主幹、舘下主幹、
熊谷係長、佐藤係長、小田主任
- 4 欠席者 崎山恵美子副会長、沼田京子委員、菅原和子委員
- 5 議 題 （1）令和5年度水道事業所予算について
（2）水道事業所と簡易水道事業所の事業統合について
（3）その他
- 6 会議経過 以下のとおり

1 開会

【海山主幹】

それでは定刻前でございますけれども出席の委員さんお集りになりましたので、ただ今より令和4年度第2回「大船渡市水道事業運営審議会」を開催したいと思います。

本日の司会を務めさせていただきます水道事業所の海山と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは審議に入ります前に資料等について確認させていただきます。本来であれば審議会の前に資料等配布して、お目通しいただくところではございますが、議会の前ということで大変申し訳ありませんが、当日配布となりました。議会まで資料等は内々にお取り扱いいただきますようよろしくお願いいたします。

本日の資料は、令和5年度大船渡市水道事業所会計予算（案）の概要、水道事業所と簡易水道事業所の事業統合、事業統合に係る経営状況の分析結果、それと上水と簡水の事業の決算値と位置図をのせた図面一式となります。ご不足の資料等ありますでしょうか、ないようですので、それではただ今より令和4年度第2回大船渡市水道事業運営審議会を開催いたします。

それでは、次第に基づきまして、次第「2 会長あいさつ」です。

細川会長よろしくお願致します。

2 会長あいさつ

【細川会長】

本日、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、大変お寒い中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より大船渡市水道事業所の円滑な運営に対しまして、ご指導、ご鞭撻をいただきましてまた厚く御礼申し上げます。

さて、委員の皆様におかれましては、2年の任期が終わりを迎えるところでございます。私の挨拶といたしましては、ここずっと新型コロナウイルス感染症の話題にずっとお話をさせていただいた記憶でございます。

ワクチンの接種等、私もそうですが皆様方も同じかと思えますけれども、予防接種等、色々対処してきたというふうに思いますが、また新たな発生というか現在も続いておりますけれども、政府の発表によりますと春にはインフルエンザと同様の第5類の区分ということで、その段階においてマスクなしの生活というか、それが送れるというふうになるようです。そういった中で対面でマスクなしでも会話というかができることはうれしく思いますし、また長いマスク生活にやっと終止符が打たれるということに喜んでおります。

さて、今日この審議会のメンバーで最後の審議会になるかと思えますが、本日もよろしくお願い申し上げます。

また本日の審議内容は、「令和5年度大船渡市水道事業会計予算の概要」、「水道事業所と簡易水道事業所の事業統合について」となっております。

事務局より詳しく説明申し上げ、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見等、賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 審議

【海山主幹】

それでは、次第の「3 審議」の方に入らせて頂きます。

審議会規則第4条第2項の規定により、これから先は会長が会議の議長となりますので、細川会長よろしくお願い致します。

【細川会長】

それでは、しばらくの間、議長ということで務めさせていただきます。それでは早速ですが次第の「3 審議」に入ります。

(1)「令和5年度大船渡市水道事業会計予算（案）の概要」について、事務局より説明願います。

【今野次長】

次長の今野と申します。よろしくお願い致します。

それでは、私からは令和5年度大船渡市水道事業会計予算（案）の概要の「令和5年度大船渡市水道事業運営の基本方針」について説明させていただきます。

資料の1ページをお開き下さい。ここに書かれていることを要約して説明させていただきます。

―――（概要書P1について説明）―――

このページに書かれております文面はこれから総務部と検討して文言の言い回しが若干変更になることがあることをご了承くださるようお願いいたします。

私からは以上となりますが、2ページ以降につきましてはそれぞれ担当からご説明申し上げます。

【海山主幹】

それでは、引き続き予算の概要についてご説明させていただきます。資料の2ページ目をご覧ください。

令和5年度の会計予算の概要でございます。

―――（概要書P2～P4について説明）―――

次に工事等の一覧につきましては館下からご説明させていただきます。

【館下主幹】

水道事業所、館下です。それでは、概要の5ページをお開き下さい。

令和5年度の予定事業につきまして説明させていただきます。

―――（概要書P5について説明）―――

以上となります。

【細川会長】

ただ今事務局より令和5年度の大船渡市水道事業会計予算（案）の概要の説明に対しまして、ご質問、ご意見等がありましたらご発言をお願い致します。

どんなことでも結構なのでご発言お願いしたいと思います。

ございませんか、よろしいですか？

【委員】 はい。

【細川会長】

それでは、あの次に「（2）の水道事業所と簡易水道事業所の事業統合について」であります。それでは事務局よりご説明お願い致します。

【今野次長】

資料の方3ページをお開き下さい。事業統合の背景につきまして説明させていただきます。

――― 大船渡市水道事業審議会資料

水道事業所と簡易水道事業所の事業統合について

1 事業統合の背景について説明（P 3～P 4）――

これに基づきまして経営シミュレーションを行いました。以降の経営シミュレーション、経営方針等につきましては各担当から説明させていただきます。

【海山主幹】

それでは、今回、お示ししました簡易事業との事業統合について改めてシミュレーションを含めて説明させていただきます。

ではシミュレーションの詳細に入ります前にそもそも簡易水道と上水道について若干説明させていただきます。資料の方は長めの資料の裏に付けさせていただいた上水道事業と簡易水道事業の業務量、決算値になります。

―― 上水道事業と簡易水道事業の業務量（決算値）の資料について説明――

資料の方に戻りまして5ページ、シミュレーションの方につきましてご説明させていただきます。

―― 5ページから18ページ（最後）まで説明――

以上がご報告になります。

【細川会長】

ありがとうございました。ただ今水道事業所と簡易水道事業所の事業統合の説明がありました。どんなことでも結構なんで質問、意見等がございましたらご発言をお願いしたいというふうに思います。

【佐藤優子委員】

はい。もう少しわかりやすい形の説明が欲しいと思いますが、これは6年度に統合するわけですね。それで統合して繰入金が使われるなら、それにこしたことはないのではないのでしょうか。そうするには三陸町の方の説明とか許可とかはいるのでしょうか？

【海山主幹】

基本的に簡易水道の方はこうした形で委員さんを選んで審議することはないです。ですので水道との事業統合にあたって意見をもらうとか、許可をもらうといった事はありません。

【佐藤優子委員】

はい。

【今野次長】

今回は簡水水道のための統合であって、逆に今の旧大船渡市の上水道の人たちにとってみれば負担が増えるという格好になるので、どちらかと言えば上水道の人たちの方が不満は出てきます。国の施策として赤字なのはわかるけども、上水と統合すれば、その赤字の幅は少しでも減る。そこまで経営努力しないと国の方も補助しませんという形になっています。このシミュレーションの結果だと一応、料金だけを見れば、20年後までは統合しない方が安く出てるんですけども、裏には税金を入れなければやっていけないということなので、料金だけ見ると負担は一番少ないんですけども、税投入の観点で考えると結局負担しているという事になっています。

【佐藤優子委員】

それでいいと思います。

【海山主幹】

だから、逆に言うと上水の審議会の方々から、経営が悪い簡易水道と一緒にならなくてもいいよと、今のままであれば何も税金ももらわないで利用者の方々の利用料金だけで賄っているんでいいですよという事なんですけど、改めて上水の人をお願いして簡水の方も救っていただくと最終的には税金投入が少額になります。料金改定では20年間で見れば良いように見えますが、その維持するために、たくさんのお金使ってますので、申し訳ないんですけども上水の人にもご協力をお願いしますということです。

【今野次長】

これまでの情勢について説明しますと、この簡易水道統合の話は平成10年代半ば辺りから国が言い始めており、平成の大合併、市町村合併があつて、それを契機に全国的にやろうとしているんですけども、うちの方でも今初めて検討している訳ではなくて、平成21年度ぐらいに検討し始めました。ただ、震災があつて、もうそれどころではなくなってしまつて今に至っているということです。県内の情勢を見ますと簡易水道を統合していないのはうちと二戸市だけで、あとは皆、統合してるという状況です。全国的にも統合してない市町村の方が少なくなっているという情勢になっています。

【細川会長】

佐藤さんよろしいですか？

【佐藤優子委員】

はい。

【細川会長】

他になにかありますか。

【佐藤清治委員】

水道事業はもっと広域で統合というのはできたりするんですか？

【今野次長】

今、まさに盛んにやっています。全国的にもやっています。例えば、奈良県なんかも多くの市町村で下水道も含めて進んでいるんですけども、広域連携の一番のメリットというのは施設の統合をして、どんどん施設を減らしていくというのが一番メリットです。当地域のようにリアス式海岸でどこに行くにも峠を越えていくというのは施設同士の連携ができないために費用がかかり過ぎてます。うちの方でも県の推進プランを作るために沿岸ブロック検討会議の中で、この地形じゃ施設の連携は無理ですよねという結論がもう出て、出来る事とすればソフト面での連携だなということで話が進んでいるんですけども、ソフト面の連携で浮いてくる経費というのはあまり効果的でないもので、だからうちの方はその地形的なハンデに苦しんでいるというような状況になります。

【佐藤清治委員】

統合すると例えば盛岡みたいな人口が多いところと県でそこでもこういう赤字なところ押し付けられてと負担というふうな格好で向こうは嫌がるんでしょうか。そういったメリットもあるのかなというふうに思ったりしたんですけど。

【今野次長】

上手く広域連携が出来る地域と当地域のようにもうハード的な連携は出来ない所は段々と格差は開いてくると思うので、後はもうお国頼みとかですね、そんな感じの時代になってくるのかなと予想はします。

【佐藤清治委員】

どちらにしろ、受益者が結局税金として負担することになるということですからいいと思います。

【細川会長】

他にございませんでしょうか。

金野さんはどうですか。

【金野弘美委員】

経営の費用を算出するにあたり、今、世の中で電気料がすごく上がっているんですが、それを踏まえて出した費用なんですか？

【今野次長】

そこまでは含んでません。但し、物価上昇率というのを若干は反映させています。これまでの動向を見ながら。ただ今回みたいに電気料金が一気に上がるというのはちょっとシミュレーション始める段階で想定していなかったもので、そこまで入っていません。それから、そういったことがあれば益々経営が厳しくなるし、さっきも言いましたように大船渡市人口ビジョンというのは結構、甘めな推計となっています。もう実状は大船渡市人口ビ

ジョンどころではなく減っているのが、ここ2、3年の状況です。来年、経営戦略をもう一回作り直しますが、その時はもう少しシビアにやらなければならないと思っています。

【海山主幹】

動力費、電気代が一気に高騰しているんですけども、近年のこの状況を反映させると、50年100年後の計算上の計数に現在の上昇分の計数を含め計算すると高倍率になるので、それを入れると算定が出来ないということで、それは除きました。

【今野次長】

あともう一点、この施設の更新需用費を算出するにあたっては現在の施設数のまま新しくするという単純なシミュレーションです。ただ、人口ビジョンでも40年後には4割人口が減る見込みで、国の方の研究所では6割減の見込みです。そうすると施設の規模もそれに合わせて小さくしていかなければならないんです。ただ今回のシミュレーションは、そこまでは反映していないので、実際はもっとシビアに、これからの方針で費用を削減する方向で見直しをかけていかなければならない。人口が減るという事は、今まで100mmのパイプで良かったけれども75mmのパイプでも足りる、あるいは浄水場が一日2,000m³の水を作れるけれども40年後には1,000m³の水で足りるとなると、更新するタイミングで規模を縮小するというふうな施策をとっていかなければならないんです。けれども、このシミュレーションでは、そこまでは行っていないので、将来的にはかなり課題があるような状況となっています。そこはご理解いただければと思います。

【細川会長】

よろしいございますか。皆さんいいですか。

それではないようなので、以上をもちまして審議が終了いたしましたことから、会議の議長の任を解かせていただきます。

委員の皆様には、進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

4 その他

【海山主幹】

次第の「4の その他」でございますが、委員の皆様から改めまして何かございませんでしょうか。

――― 特に無し ―――

なければ、所長からお願いします

【佐藤所長】

水道事業所長の佐藤でございます。本日はお忙しいところ委員の皆様には大船渡市水道

事業運営審議会にご出席、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。冒頭の細川会長の挨拶にもありましたけれども、委員の皆様の任期は2年ということで、この3月までの期間となります。3月までは今のところ審議会の予定はありませんので、今回が最後の審議会になろうかと考えております。この2年間、新型コロナウイルス感染症の影響もありまして、一時は審議会の開催が出来ないのではないかとということも考えられた時代もありましたけれども2年間の任期期間中に中止にならずにご審議頂きまして意見等、賜りました事について改めて御礼を申し上げます。

水道事業につきましては本日の資料の中でも、ご説明いたしましたけれども給水人口の減少に伴いまして給水収益の減少が見込まれます。一方では老朽化施設の更新需要に対応しなければなりませんし、電気料金の高騰などによる影響もありまして維持管理費用の増加が進んでおります。そしてそのことで経営環境は一層厳しくなるものと予測されております。また近年多発しております災害等の危機管理に対応した方策についても今後検討していくことがありまして、多くの課題が山積みとなっております。また本日審議して頂きました簡易水道との統合についても統合したあかつきには、次長のほうからもお話がありましたけれども、水道の施設を小さくする、または適正な規模にしていくような方策にしていくように今後、検討していきたいと思っております。

令和2年度に策定しました経営戦力におきましても事業運営の方針として掲げております安定給水の確保、水道施設の合理化、水道サービスの向上、経営基盤の強化を目指しまして、将来ともに大船渡市の水道事業を継続できるように事業を進めて参りたいと考えております。今後におきましても水道行政にお気付きの点がございましたら、どのような小さなことでも構いませんので皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

5 閉会

【海山主幹】

それでは、ただいまをもちまして令和4年度第2回大船渡市水道運営審議会を終了させていただきます。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

終了